

平成26年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス

コード番号 2362 URL <http://www.yumeshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 大央

TEL 03-5981-0672

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日

平成26年5月23日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	7,966	29.9	872	12.9	1,976	106.7	1,418	142.9
25年9月期第2四半期	6,132	12.9	772	29.9	956	49.7	583	48.3

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 1,434百万円 (63.1%) 25年9月期第2四半期 879百万円 (109.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年9月期第2四半期	22.10	21.68
25年9月期第2四半期	9.79	9.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	13,051	7,722	55.3
25年9月期	9,915	5,378	50.4

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 7,215百万円 25年9月期 4,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年9月期		3.00		17.00	20.00
26年9月期		10.00			
26年9月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	18,000	43.6	3,200 ~ 4,200	80.7 ~ 137.1	2,100 ~ 2,600	51.2 ~ 87.2	33.31 ~ 41.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社夢真メディカルサポート
(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. サマリー情報(注意事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	74,573,440 株	25年9月期	74,573,440 株
期末自己株式数	26年9月期2Q	9,032,486 株	25年9月期	11,532,486 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	64,193,427 株	25年9月期2Q	59,656,888 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年5月28日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	7
4. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 連結の業績概況

当第2四半期連結累計期間(2013年10月1日～2014年3月31日)における我が国経済は、アベノミクス効果による円安・株高基調の中、企業の業績が順調に推移しており、景気に回復の兆しが見えてきているものの、消費税の増税や海外経済の動向による影響等のリスク要因もあることから、景気の先行きに注視が必要な状況となっております。

建設業界におきましては、復興関連予算の執行による政府建設投資の増加が下支えとなり、また、民間設備投資も増加基調で受注環境は回復傾向が鮮明になっております。特に、首都圏での改修・補修工事、耐震補強工事の増加、住宅ローン減税の延長および増税前の駆け込み需要等による新設マンション着工戸数の増加等、その需要は顕著となっております。一方、このような市場環境に対し、職人およびゼネコン各社が抱える施工管理者の「高齢化」「若手不足」が深刻化しており、全国的に建設就業者が不足する事態が生じております。

このような事業環境の下、当社グループでは、建築技術者派遣事業の成長拡大を最優先課題とし、全国的な建設工事の増加を見据え、技術者の採用活動に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,966百万円(前年同期比29.9%増)、営業利益872百万円(前年同期比12.9%増)、経常利益1,976百万円(前年同期比106.7%増)、四半期純利益1,418百万円(前年同期比142.9%増)となりました。

② セグメント別の業績概況

当社グループの報告セグメントは「建築技術者派遣事業」、「エンジニア派遣事業」、「子育て支援事業」および「医療介護支援事業」の4つとなります。

各セグメントの主な事業および事業会社については、下表をご参照ください。

セグメント名	主な事業の内容	事業会社名
建築技術者派遣事業	・ 建築現場への施工管理技術者派遣 ・ CADオペレーター派遣	㈱夢真ホールディングス
エンジニア派遣事業	・ 製造業メーカーへのエンジニア派遣	㈱夢テクノロジー ㈱ユニテックソフト
子育て支援事業	・ 保育所の運営 ・ 保育士の派遣	㈱我喜大笑
医療介護支援事業	・ デイケアサービス施設の運営	

セグメント別の業績については、下記のとおりとなります。なお、セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行った数値となります。

(a) 建築技術者派遣事業

(単位：百万円)

	2013年9月期 第2四半期	2014年9月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	3,962	5,662	+1,700	42.9%
セグメント利益	747	848	+101	13.5%
期中採用人数	363人	729人	+366人	—
四半期末技術者数	1,290人	2,082人	+792人	—

<当事業の概況>

当社グループの中核事業であります建築技術者派遣事業におきましては、ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」「若手不足」の影響により、派遣需要は旺盛に推移いたしました。また、今後想定される全国的なインフラ整備工事、東北地方の復興需要の本格化、オリンピック関連工事に備え技術者を増員するべく、年間採用人数1,600人の計画とし採用活動に注力してまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間にて729人(前年同期363人)の入社となり、それに伴い6ヶ月間の平均技術者数は1,929人(前年同期1,197人)、2014年3月末現在の在籍技術者数は2,082人(前年同月1,290人)となっております。

<当事業の業績>

売上高に関しましては、技術者の増員による稼働人数の増加により、前年同期比1,700百万円(42.9%)増加の5,662百万円となりました。

セグメント利益に関しましては、前第3四半期連結会計期間(2013年4～6月)において、一時的に低下した稼働率・派遣単価が堅調に回復したことで原価率が低下し、売上総利益率が上昇いたしました。(下表「(ご参考)連結会計期間毎の業績推移」をご参照ください。)

また、当第1四半期連結会計期間(2013年10～12月)にて、求人媒体への出稿数を増加させたことやTVコマーシャルの放映など、積極的な採用活動により先行して費用が増加しましたが、活動内容を精査し効果の高い施策のみに絞ったことにより、当第2四半期連結会計期間では当第1四半期連結会計期間と比較し、販売費及び一般管理費が減少いたしました。

以上の結果、前年同期比101百万円(13.5%)増加の848百万円となりました。

(ご参考) 四半期連結会計期間毎の業績推移

(単位：百万円)

	2013年9月期				2014年9月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
売上高	1,892	2,070	1,938	2,262	2,633	3,029
売上原価	1,231	1,318	1,400	1,627	1,852	2,003
原価率	65.1%	63.7%	72.2%	71.9%	70.4%	66.2%
売上総利益	661	751	538	635	780	1,025
総利益率	34.9%	36.3%	27.8%	28.1%	29.7%	33.9%

(b) エンジニア派遣事業

(単位：百万円)

	2013年9月期 第2四半期	2014年9月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	1,954	2,036	81	4.2%
セグメント利益	151	156	5	3.3%

<当事業の概況>

エンジニア派遣事業におきましては、主要顧客である製造業各社において、自動車メーカーを中心として、東日本大震災の影響等による生産の落ち込みから回復基調にありました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界において、ここ数年抑制していた各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。

このような事業環境の下、主に機械及び情報系技術者の採用強化及び新規顧客の開拓、稼働率の改善を営業施策の柱として取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,036百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は156百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

(c) 子育て支援事業

(単位：百万円)

	2013年9月期 第2四半期	2014年9月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	123	128	4	3.4%
セグメント利益	23	25	1	8.0%

<当事業の概況>

子育て支援事業におきましては、待機児童が多く保育サービスの需要が高い東京都及び神奈川県において、認証保育所を4箇所運営しております。また、併せて保育士の派遣を行っており、施設の提供並びに人材の供給を実施してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は128百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は25百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

(d) 医療介護支援事業

(単位：百万円)

	2013年9月期 第2四半期	2014年9月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	91	138	47	52.0%
セグメント利益 又は損失(△)	4	△3	△7	—

<当事業の概況>

医療介護支援事業におきましては、高齢社会が進む中、医療及び介護サービスへのニーズが日ごとに増加していることを受け、デイサービス施設を東京都にて4箇所運営してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は138百万円（前年同期比52.0%増）、セグメント損失は3百万円（前年同四半期は4百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて3,135百万円増加し、13,051百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加1,764百万円、受取手形及び売掛金の増加488百万円等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて791百万円増加し、5,328百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加506百万円、借入金の増加175百万円等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて2,344百万円増加し、7,722百万円となりました。これは主に資本剰余金の増加1,597百万円、四半期純利益1,418百万円、剰余金の配当による減少1,071百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社であった株式会社夢真メディカルサポートは、平成26年1月1日付で、当社の連結子会社である株式会社我喜大笑を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第2四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,245,553	6,010,129
受取手形及び売掛金	1,860,199	2,348,782
有価証券	16,772	21,316
たな卸資産	812	856
その他	356,406	1,414,460
貸倒引当金	△22,269	△37,161
流動資産合計	6,457,474	9,758,383
固定資産		
有形固定資産	1,465,230	1,443,584
無形固定資産		
のれん	515,802	427,394
その他	37,161	29,189
無形固定資産合計	552,963	456,583
投資その他の資産		
投資有価証券	1,166,416	1,164,665
その他	315,824	277,196
貸倒引当金	△42,352	△49,268
投資その他の資産合計	1,439,888	1,392,593
固定資産合計	3,458,082	3,292,762
資産合計	9,915,557	13,051,145
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,425	10,606
短期借入金	—	595,000
1年内返済予定の長期借入金	839,560	839,520
未払法人税等	377,644	884,051
賞与引当金	190,412	236,011
その他	1,038,324	1,115,414
流動負債合計	2,455,366	3,680,604
固定負債		
長期借入金	1,648,780	1,229,040
退職給付引当金	270,069	278,060
資産除去債務	2,126	1,550
その他	161,170	139,415
固定負債合計	2,082,146	1,648,065
負債合計	4,537,513	5,328,670

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	2,204,895	3,802,770
利益剰余金	3,322,668	3,669,343
自己株式	△1,290,472	△1,012,972
株主資本合計	5,042,237	7,264,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45,912	△48,647
その他の包括利益累計額合計	△45,912	△48,647
新株予約権	5,518	18,445
少数株主持分	376,199	488,388
純資産合計	5,378,043	7,722,475
負債純資産合計	9,915,557	13,051,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	6,132,678	7,966,017
売上原価	4,288,011	5,716,624
売上総利益	1,844,667	2,249,393
販売費及び一般管理費	1,072,329	1,377,168
営業利益	772,337	872,225
営業外収益		
受取利息	2,238	1,901
受取配当金	9,449	4,059
投資有価証券売却益	56,523	958,522
受取家賃	36,868	35,222
補助金収入	76,578	96,981
その他	54,783	52,508
営業外収益合計	236,441	1,149,195
営業外費用		
支払利息	29,981	23,061
賃貸収入原価	12,196	12,193
その他	10,253	9,212
営業外費用合計	52,431	44,467
経常利益	956,347	1,976,953
特別利益		
子会社株式売却益	—	299,756
その他	—	800
特別利益合計	—	300,556
特別損失		
投資有価証券評価損	—	15,150
和解金	29,338	—
その他	—	1,480
特別損失合計	29,338	16,630
税金等調整前四半期純利益	927,009	2,260,880
法人税、住民税及び事業税	332,270	887,727
法人税等調整額	△14,945	△69,277
法人税等合計	317,324	818,450
少数株主損益調整前四半期純利益	609,685	1,442,429
少数株主利益	25,733	24,058
四半期純利益	583,951	1,418,371

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	609,685	1,442,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	270,121	△7,520
その他の包括利益合計	270,121	△7,520
四半期包括利益	879,806	1,434,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	830,669	1,415,636
少数株主に係る四半期包括利益	49,137	19,272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

該当事項はありません。

2. 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

当第2四半期連結累計期間において、当社の新株予約権が行使されたことにより、資本剰余金が1,597,875千円増加、自己株式が277,500千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金が3,802,770千円、自己株式が△1,012,972千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	3,962,479	1,954,952	123,980	91,267	6,132,678	6,132,678
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,962,479	1,954,952	123,980	91,267	6,132,678	6,132,678
セグメント利益	747,717	151,698	23,652	4,510	927,578	927,578

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	927,578
のれんの償却額	△41,707
全社損益(注)	70,476
四半期連結損益計算書の経常利益	956,347

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない財務関連の損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	5,662,514	2,036,499	128,248	138,756	7,966,017	7,966,017
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,662,514	2,036,499	128,248	138,756	7,966,017	7,966,017
セグメント利益 又は損失(△)	848,837	156,770	25,538	△3,236	1,027,910	1,027,910

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,027,910
のれんの償却額	△39,553
全社損益(注)	988,596
四半期連結損益計算書の経常利益	1,976,953

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない財務関連の損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な資産の譲渡

当社は、平成26年4月9日の取締役会において、当社が所有する下記の固定資産を譲渡することについて決議いたしました。

1. 譲渡の理由

資産効率の向上と、財務体質の強化を図ることを目的とするものであります。

2. 譲渡資産の内容

資産の種類	所在地	現況	帳簿価額 (平成26年3月 31日現在)	譲渡価額
建物、土地	東京都板橋区小茂根1丁目31番2号	社員寮	171,167千円	171,000千円
建物、土地	埼玉県さいたま市南区四谷2丁目91番3 他	社員寮	191,547千円	193,000千円
建物、土地	茨城県水戸市本町2丁目1番地2 他	賃貸用不動産	256,754千円	459,000千円

3. 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、譲渡先との取り決めにより公表を控えさせていただきます。

なお、譲渡先と当社及び連結グループ会社の間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者として特記すべき事項はございません。

4. 譲渡の日程

契約締結日 平成26年4月10日

物件引渡期日 平成26年5月30日(予定)

5. 今後の見通し

平成26年9月期第3四半期決算において、固定資産売却益約2億円を計上する予定であります。